

第5回 箕面山 2023年6月18日(日)

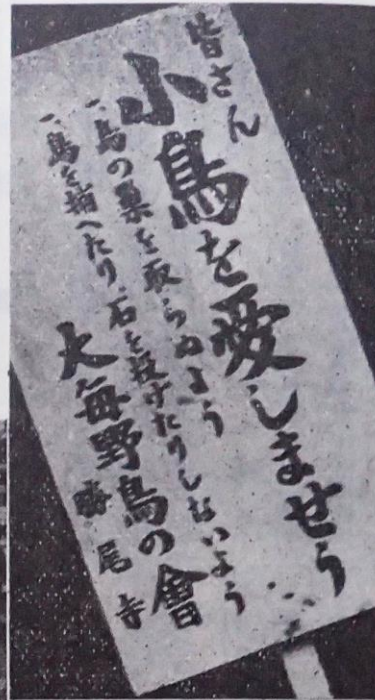
本日の担当：納家 仁、久下直哉

阪急箕面駅前 8時30分集合 現地勝尾寺 14時解散 *解散後は、北大阪急行線・千里中央駅までバス

1939(昭和14)年6月11日に大毎野鳥の会後援の箕面山探鳥会が開催されました。参加者は80余名。東京から中西悟堂、大阪支部からは森田支部長、榎本指導員、堀田幹事等が参加。以下「野鳥」昭和14年8月号から

六月十一日(日)毎年行はれる事になつてゐる此の探鳥会も、合憎前後夜来の雨で、参加者も八十餘名。しかし雨の爲ハイカーも少く、探鳥には都合の良い日であつた。東京から中西主幹、神戸から裏川幹事、當支部からは森田支部長、榎本指導員、堀田幹事等五六人参加。主催者大阪毎日事業部副部長野鳥會員山口勝

大毎主催
野鳥の會後援
箕面山探鳥會
堀田光鴻記



箕面探鳥會、勝尾寺山門の記念撮影。小鳥愛護標札は大毎社設立

一氏の司會で八時阪急梅田出發、先づ箕面驛に多數營巢する腰赤燕を見、溪流に沿ふ緑の道を瀧へ。途中シジフカラ、コゲラ、カケス、ヒヨドリを聞き「政の茶屋」で休憩、さらに探鳥を続け勝尾寺に至り、一同記念撮影。寺にて中食後、榎本佳樹氏の野鳥愛護を強調する講演があつた。あまりの熱演に一同水を打つた如く、野鳥愛護の念を一入深めた。次で中西主幹の「方言から見た鳥名」と題する面白い話に時を過し二時過解散。希望者のみ又奥山コースの探鳥をした。當日見聞した鳥は左の通りである。コシアカツバメ、ツバメ、四十雀、コゲラ、ホホジロ、カケス、ヒヨドリ、アラゲラ、コサメビタキ、大ルリ、カラス、目白、三光鳥、サンセウクヒ、ヒガラ、ヤブサメ、コカハラヒワ、ウグヒス、トビ、スズメ、キジバト、カハセミ。以上。